



こどもと家族を社会で支える取組

子育てするなら  
**四日市プラス**

「こども  
まんなか社会」  
を目指して

充実した人生を歩むための基盤を育み、誰もが憧れる  
『子育て・教育安心都市』の実現に向けて

プロジェクト 01

令和の学び!  
基盤となる学力・  
体力・能力向上  
プロジェクト

こどもたちの中で眠っている可能性は、これからの社会・四日市を創る希望そのものです。

教育活動全体を通して、こども自身が持つ「自ら成長する力」を存分に引き出し、基盤となる学力と体力、言語・情報活用・問題解決能力等を向上するとともに、夢と志を持ったこども、一人ひとりの確かな成長を支援します。



プロジェクト 02

子育て家庭の  
安心実感倍増  
プロジェクト

こどもを産み、育てることはさまざまな不安や心配事がつきもの。それを、自分だけで背負うのは難しいものです。

子育てに関わる経済負担の軽減、相談体制や支援の充実など、四日市で子育てする保護者の皆さんが安心を実感できるよう、東海エリアでトップクラスの充実した体制づくりを進めます。



プロジェクト 03

「子育て&仕事」  
両立応援  
プロジェクト

共働き世帯や核家族の増加に伴い、これまでと同じ働き方を続けながらの子育ては限界に近づいています。

いま目の前の、そしてこれからのライフスタイルに合った「子育てと仕事」が両立できる環境を社会全体で整えるため、事業者と協力して、全国有数の産業都市“四日市市”だからできる先駆的な取組を進めます。



社会全体でこどもの育ちを支える「こどもまんなか社会」の実現を目指して、  
「子育て世代から選ばれる、誰もが安心して子育て・子育てできるまちづくり」を進めます。

プロジェクト 01 令和の学び!基盤となる学力・体力・能力向上プロジェクト

No. 1 「四日市市新教育プログラム」による  
夢と志を持ったこどもの育成

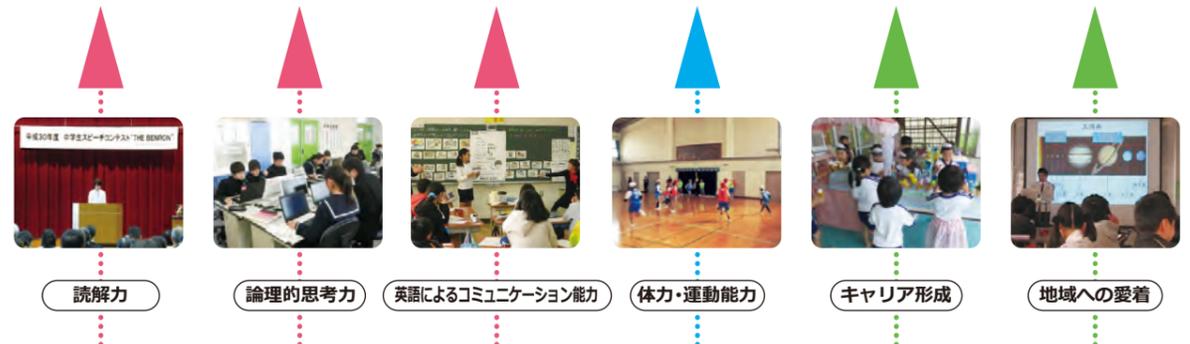
教育+子育て

目的

就学前から中学校まで一貫した考え方による教育プログラムを展開することで  
こどもが自らの人生を拓き、生き抜く力を持つことができる

具体的  
取組

- ① 新学習指導要領も見据えた新教育プログラムを教職員が共有することで、学びの一体化を実現します。
- ② 6つの柱「読解力」「論理的思考力」「英語によるコミュニケーション能力」「体力・運動能力」「キャリア形成」「地域への愛着」を系統的に組み立てるとともに、その土台となる力として非認知能力を位置づけることで、言語能力、情報活用能力、問題解決能力等を育成します。



就学前のこどもたちには、園での遊び等を通じ、「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へと意識できるような活動を計画、実施し、小学校との円滑な接続を図ります。小、中学校では、これからの社会を生き抜く総合的な力を養うため、弁論大会、個別学習支援、英語による地域情報発信、新体力テスト、キャリアパスポート、地域企業との連携授業などに取り組む機会を提供します。

No. 2 先端技術に対応した教育現場のICT化

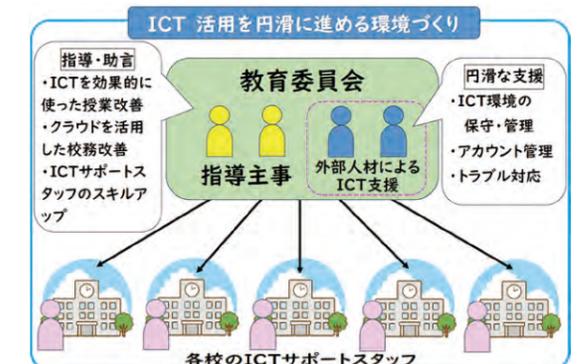
教育+ICT

目的

大きな変革の時代に対応し、多様な特性を持つこどもたちに  
「誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学び」を提供する

具体的  
取組

- ① 授業等でのICT機器の効果的な活用を推進します。
- ② 教員のICT研修を充実するとともに、ICT活用を円滑に進める環境づくりを推進します。
- ③ 1人1台児童生徒用タブレット端末など、必要機器の更新についても計画的に行います。



先端技術の導入により、個々のこどもに合った学習環境を提供し、社会に対応できる力を効果的に身に付けるとともに、教育現場への導入を働き方改革につなげ、こどもに向き合う時間を確保します。

先端技術を効果的に活用するために、外部人材を活用しながら、各校の支援を円滑に行うとともに、指導主事が各校のICT活用や授業改善について指導・助言していきます。

No. 3 幼少期から質の高い芸術・文化に触れることのできる  
機会の提供 子育て+教育+文化

**目的** 「本物に触れる」機会を提供することで  
**こどもたちの可能性を引き出し、豊かな感性を育む**

- 具体的取組**
- ① こどもたちに、質の高い芸術・文化に触れることのできる機会を提供します。
  - ② 音楽家や芸術家が市内小中学校を訪問し、こどもたちが将来に夢と希望を持つきっかけをつくれます。
  - ③ 中学校休日部活動の地域展開に向け、地域における中学生の文化・芸術活動の機会確保に努めます。



全てのこどもたちが、質の高い芸術・文化に触れることのできる機会を提供します。幼いころに「本物に触れる」ことで、文化・芸術への興味を高め、生まれ持った可能性を引き出します。



音楽家や芸術家が学校を訪問し、こどもたちが普段の授業とは異なる体験をすることで、芸術に親しむとともに将来に夢と希望を持つきっかけとします。



生徒の豊かな文化・芸術活動を実現するため、各種協会や団体と連携し、持続可能な活動環境を整備します。

No. 4 幼少期から体を動かす習慣づくり 子育て+教育+スポーツ

**目的** 「スポーツに触れる」機会を提供することで  
**こどもたちの好奇心を刺激し、運動・スポーツに親しむ**

- 具体的取組**
- ① こどもたちや保護者が、気軽に楽しく体を動かす機会を提供します。
  - ② アスリートが市内小中学校を訪問し、基本的なプレーや専門的な指導を受ける機会を提供します。
  - ③ 中学校休日部活動の地域展開に向け、地域における中学生のスポーツ活動の機会確保に努めます。



全てのこどもたちに、スポーツ種目だけでなく、気軽に楽しく体を動かす機会を提供し、運動に親しむを持つきっかけとします。



アスリートが学校を訪問し、一緒に取り組み、指導する機会を提供することで、こどもたちがスポーツの基本的なプレーを体験し、上達する喜びを感じ、スポーツを楽しむきっかけとします。



生徒の豊かなスポーツ活動を実現するため、各種協会や団体、総合型地域スポーツクラブと連携し、持続可能な活動環境を整備します。

No. 5 多様なこどもに対する多様な学びの場の提供 教育+子育て

**目的** いじめ、不登校をはじめとする課題に対応し、  
**多様なこどもに対する多様な学びの場を提供する**

- 具体的取組**
- ① いじめ、不登校、家庭環境等多様な問題へ対応できる体制づくりを推進します。
  - ② 学習機会と居場所を確保するため、校内ふれあい教室の拡充を図ります。
  - ③ オンライン学習の活用など、多様な学びの場の提供に向けた取組を進めます。
  - ④ 特別な配慮や医療的なケアを必要とするこどもへの支援体制を充実させます。



スクールソーシャルワーカー(SSW)等の専門職員の配置拡充のほか、校内ふれあい教室の拡充及び教員の配置を充実させます。



通級指導教室やサポートルームの拡充、特別支援教育支援員・介助員や医療的ケアサポーターの配置を充実させます。

No. 6 インターネット時代における、メディア・リテラシー養成  
を通じた人権教育の推進 子育て・教育+人権

**目的** インターネットを通じて発信される情報内容を主体的に読み解き、  
**インターネットを安全に活用することができるこどもを育てる**

- 具体的取組**
- ① 市内の各小・中学校において、メディア・リテラシー養成の取組を含む人権教育の推進を図ります。
  - ② 学校教育にとどまらず社会教育においても、メディア・リテラシーの養成に取り組みます。



メディア・リテラシーとはインターネットやメディアが発信する情報をそのまま受け取るのではなく、自らの判断で主体的に読み解き、活用する力のことです。インターネットから発信される情報に、社会的な偏見が含まれていることもあります。メディア・リテラシーは、インターネット等で発信される情報はもちろんのこと、日常会話から得る情報についても必要です。



インターネット上で、依然として発生している、いじめ、差別を助長する書き込み、個人や団体への誹謗中傷、プライバシーを侵害する行為、匿名性を悪用した無責任な情報や有害情報の発信等による人権侵害を解消するため、幼少期からの人権教育を通じて必要な能力の育成を図ります。

## No. 1 乳幼児期における質の高い教育・保育の提供 子育て+人材確保

**目的** 保護者も子どもも安心して過ごせる質の高い教育・保育を提供し  
**こどもの健やかな成長を支える**

- 具体的取組**
- ① 幼児教育センターによる就学前教育・保育施設に携わる職員を対象とした研修や園への訪問・相談支援などを実施し、公立・私立にかかわらず教育・保育の質を向上します。
  - ② 保育士等の処遇改善や職場の環境改善などに取り組み、保育園等で働く保育人材を確保し、待機児童の解消を目指します。



三重大学等と連携し、人材育成等に関する講座や園の要望に応じて各分野の専門家を派遣し、施設長や保育者に対して指導、助言を実施します。



四日市市就学前教育・保育カリキュラムを活用し、小学校以降の学びを見据えた乳幼児期に育みたい資質・能力を培う教育・保育内容の充実を図ります。

## No. 2 いつでも誰でも訪れられる活動・交流の場づくり 子育て+交流

**目的** こどもたちが心身ともに健やかに成長できる環境を充実することで  
**こどもや子育て家庭の安心感を倍増**

- 具体的取組**
- ① 全市的な施設である、こども子育て交流プラザといったこどもや親子が安心して活動や交流等ができる、拠点的な施設の拡充も視野に入れた検討を行います。



児童館の無い地域に出向いて、健全な遊びや体験活動等の機会を提供している移動児童館の充実に努めます。



全市的な施設であるこども子育て交流プラザといった拠点的な施設の拡充も視野に入れた検討を行います。

## No. 3 子育て家庭の経済的負担を軽減 子育て+教育

**目的** 妊娠前から子育て中のライフステージ別に経済的負担を軽減することで  
**こどもを産み育てたいと願う人の希望がかなう社会を実現する**

- 具体的取組**
- ① 不妊治療費助成を着実に実施していきます。
  - ② 妊婦や乳幼児の健康診査事業を着実に実施し、充実を図ります。
  - ③ 子ども医療費の窓口負担無料を着実に実施していきます。
  - ④ 経済的理由から修学が困難な高校生、大学生等への給付型奨学金を支給します。
  - ⑤ 子育て家庭への経済的負担の軽減のため、支援制度の創設や拡充を行います。

子育て世帯（ライフステージ）

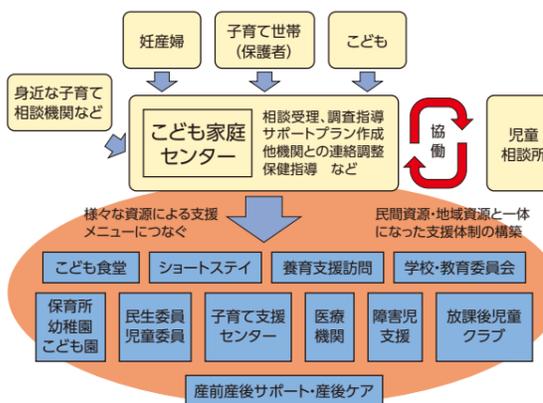


- ① 不妊治療費助成を実施
- ② 妊婦 / 乳幼児の健康診査事業を実施
- ③ 高校生年代までの子ども医療費の窓口負担無料化
- ④ 給付型奨学金を支給

## No. 4 児童虐待防止と養育支援のための取組 子育て+福祉

**目的** こども家庭センターとして、児童虐待相談や子育て家庭からの相談を受け、その課題やニーズに応じた支援を行うことで  
**すべてのこどもが健やかに育つ環境をつくる**

- 具体的取組**
- ① 児童福祉分野と母子保健分野の連携と協働による一体的な支援を実施できる体制を構築します。
  - ② 支援が必要な妊産婦や子育て家庭への支援事業を充実させます。



こども家庭センターは、地域の関係主体とつながりながら、子育て家庭に係るマネジメントを行います。



児童虐待防止に係る啓発活動にも取り組んでいます。児童相談所虐待対応ダイヤル189は、誰でも無料で利用することができます。

## No. 5 社会教育施設をはじめとした地域資源の魅力発見

子育て+教育+環境+地場産業+市民協働

**目的** 本市が誇る社会教育施設等の連携企画により  
**こどもが本市の魅力を感じ、楽しむことで、誇りを育てる**

- 具体的取組**
- ① そらんぼ四日市、久留留官衙遺跡、定期市など本市の様々な資源の魅力発見企画を開催します。
  - ② 地元企業等による出前講座や図書館からの読み聞かせ出前講座など、本市の魅力を感じ発見できる機会を提供します。



夏休みの自由研究などの機会に、市内のこどもと保護者が複数の市内の社会教育施設を回るなどの連携企画を実施し、本市の魅力を感じ、楽しみ、誇りを育てます。

本市の強みを生かして、地元企業による出前講座の拡充や図書館から子育て支援施設などへの読み聞かせ出前講座など、教育、子育て支援の充実を図ります。

## No. 6 AIを活用した市内のイベント情報発信

シティプロモーション+子育て+生活

**目的** 暮らしを楽しめるまちとして、さまざまなイベントの情報を発信することで  
**暮らしを楽しめるまちとしてのイメージアップを図る**

- 具体的取組**
- ① AIを活用し、市内の民間・行政主催のイベント情報を子育て世代などに向けて網羅的にわかりやすく届けます。



AIを活用した本市の情報集約サイト



三浜文化会館で開催されたじどうかんまつり

## No. 7 みんなで創る安全な歩行空間

子育て+教育+道路整備+市民協働

**目的** 歩行空間整備による安全性の向上と、地域全体で行う見守り活動の両輪により  
**こどもを交通事故や事件から守る**

- 具体的取組**
- ① 警察・教育委員会・市が連携し、通学や保育の園外活動に使う道路の安全対策を進めます。
  - ② ゾーン30 プラスの取組など、安全に歩くことができる道路空間の指定を推進します。
  - ③ 防犯パトロールや見守り活動を行う地域防犯団体を支援します。



歩行者の安全性を高めるために、歩道の幅幅による安全の確保や、路肩のカラー化により運転者が歩行者に配慮するような取組を進めます。



歩行者や自転車など、道路を使う全ての人の安全を確保するために、速度制限を設け、注意を促します。



こどもや高齢者など、道路を使う全ての人が安全に歩くことができるよう、地域が一体となって取り組むさまざまな防犯活動を支援します。

## No. 8 こどもの居場所づくり

子育て+教育+地域

**目的** 学校や地域、民間団体等と連携しながら、多様なこどもの居場所を設けることで  
**こどものウェルビーイングを実現する**

- 具体的取組**
- ① 民間団体等が実施することも食堂や学習支援等の取組を支援します。
  - ② 公共施設や民間施設を活用した居場所づくりの実証事業を実施し、こどものニーズに応じた居場所の創出を図ります。
  - ③ こどもの居場所づくりをコーディネートすることで、安定的で質の高い居場所運営のサポートを行います。
  - ④ コミュニティスクールと地域住民等が連携し、学習支援や体験活動など多様な居場所の創出を図ります。



市内で行われているこども食堂等こどもの居場所づくりに関する事業を実施する団体を補助し、地域の支援体制の強化を図ります。

## No. 1 安心して子どもを預けることのできる環境整備

子育て+雇用

**目的** 就学前教育・保育の充実と学童保育所の充実により  
**子育てと仕事の両立を応援する**

- 具体的取組**
- ① 保育園・幼稚園・こども園の適正な受け入れ枠の確保や多様な保育サービスの充実を図ります。
  - ② 学童保育所について、学校の校舎や敷地の積極的な利活用を図るとともに、受け入れ枠拡大への支援に取り組みます。
  - ③ 学童保育所の運営に携わる地域や保護者の負担軽減や、人材の確保・研修体制の充実による保育の質の向上に取り組みます。



保育園・幼稚園・こども園の適正な受け入れ枠の確保や多様な保育サービスの充実を図ります。



学童保育所のニーズが高まる中で、子どもが安全・安心な環境で放課後を過ごすことができるよう、学校の校舎や敷地の積極的な利活用を図ります。



学童保育所運営の負担軽減を図る支援や、様々な人材確保・指導員の研修体制の充実による保育の質の向上に取り組みます。

## No. 2 仕事と子育ての両立ができる職場環境の実現

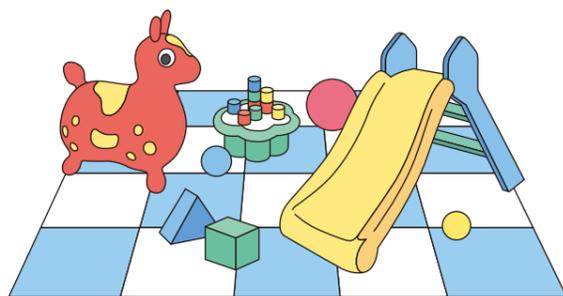
産業+子育て

**目的** 制度と設備の両面を充実させることで  
**仕事と子育てが両立できる環境を整備する**

- 具体的取組**
- ① 仕事と子育ての両立を推進するため、各種休業制度の充実のほか、在宅勤務や育児短時間勤務など柔軟な就業ができるよう企業へ働きかけを行います。
  - ② 男女がともに働きやすい環境づくりのための施設整備を行う企業に対して支援を行います。
  - ③ 優れたワーク・ライフ・バランスの取組を行う企業を表彰する等、働きやすい職場作りを推奨します。



男女を問わず早く帰宅できるよう、また、柔軟な働き方ができるように就業規則の見直しや改善を支援します。



男女がともに働きやすい施設や、こどもの遊び場スペース設置など、子育て世代にも配慮した施設整備を行う企業を支援します。

